

特別展 日本刀展

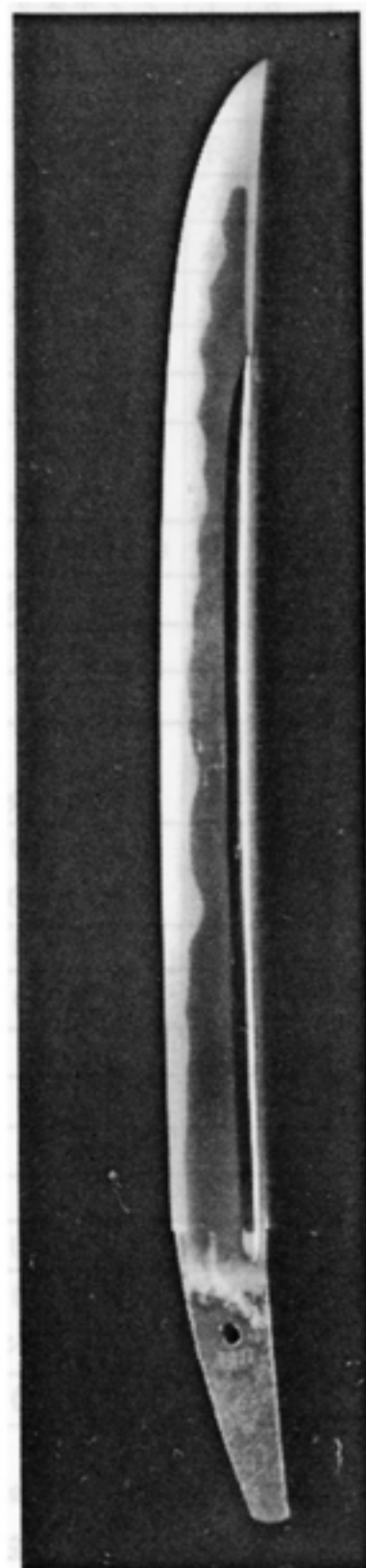
会期 昭和58年1月9日(日)~1月23日(日)

会場 平塚市博物館・特別展示室 (入場無料)

主催 平塚市博物館

(展示品) 脇差無銘伝助包(鎌倉時代備前伝)/太刀無銘伝延寿(鎌倉時代山城伝)/太刀清綱(鎌倉時代大和伝)/太刀無銘伝当麻(鎌倉時代)/太刀無銘伝長義(南北朝時代備前伝に相州伝を併用)/脇差相模國住人廣光(南北朝時代相州伝)/脇差相州住秋廣(南北朝時代相州伝)/脇差備州長船成家(南北朝時代備前伝)/太刀無銘伝大宮盛景(南北朝時代備前伝)/脇差銘伝手搔(南北朝時代大和伝)/短刀兼氏又作(室町時代美濃伝)/短刀相州住廣正(室町時代相州伝)/脇差村正(金象嵌銘)(室町時代相州伝)/大身の槍義助(室町時代相州伝)/刀備前國住長船忠光彦兵衛作(室町時代備前伝)/脇差相州住國次(室町時代相州伝)/刀冬廣作(室町時代相州伝)/脇差相州住正吉作之(室町時代相州伝)/脇差相州住盛重(室町時代相州伝)/刀相州住綱廣(室町時代相州伝)/刀兼元(室町時代美濃伝)/刀兼永(室町時代大和伝)/短刀兼升作(室町時代美濃伝)/脇差相州関兼高(室町時代美濃伝)/脇差繁慶(江戸時代相州伝)/脇差平安城住人忠國(江戸時代相州伝)/刀相州住綱廣(江戸時代相州伝)/刀伊賀守金道(江戸時代美濃伝)/脇差相州住伊勢大塚綱廣(江戸時代相州伝)/刀近江守法城寺橋正弘(江戸時代新刀特伝)/刀相州住伊勢大塚源綱廣(江戸時代相州伝)/脇差宗次(江戸時代相州伝)/刀彦根臣河西庄右衛門光貞依好於東都備前介宗次作之(江戸時代備前伝)/刀巖國山麗青竜軒盛俊造之(江戸時代備前伝)/刀相模國住靖要六五歳作(現代)/刀豆州三島住涌水心貞吉謹作(現代)/刀加賀國住兩山子正峯作之(現代)/刀源盛吉(現代)/刀大坂住月山貞勝謹作(現代)/刀靖廣謹作(現代)

※脇差無銘伝助包(鎌倉時代備前伝)⇒種類は脇差、銘は無銘、助包の作であろうと伝えられている。(鎌倉時代の作、伝法は備前伝)





1月の行事



1	土	(元日・休館日)
2	日	(休館日)
3	月	(#)
4	火	(#)
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	プラネタリウム、土曜観察会、 石仏を調べる会
9	日	プラネタリウム
10	月	(休館日)
11	火	
12	水	
13	木	デッサン教室
14	金	デッサン教室
15	土	(成人の日・休館日)
16	日	プラネタリウム、自然観察会「城ヶ 島のウミウを見る」
17	月	(休館日)
18	火	体験学習会「湯のみ茶碗を作ろう」
19	水	#
20	木	#
21	金	# 星を見る会「半月を見よう」
22	土	プラネタリウム、土曜観察会「高麗 山湘南平の自然」、石仏を調べる会。
23	日	プラネタリウム
24	月	(休館日)
25	火	
26	水	
27	木	
28	金	
29	土	プラネタリウム
30	日	プラネタリウム、地層観察会「ロー ム層を調べる」
31	月	(休館日)

※1・2月のプラネタリウムは、「ハレー彗
星 part1」をテーマに投影します。

☆ 1, 2月の行事 ☆☆☆☆☆☆

あなたも参加してみませんか

● 特別展「日本刀展」

日本美術刀剣保存協会湘南支部会員の愛蔵して
いる相州物を中心とした刀剣約40振および鍔2
0点を展示します。

会期 1月9日(日)～23日(日)

場所 博物館・特別展示室 (入場無料)

● 「市内の横穴墓展」

山を散策すると、斜面に沿って幾つかの洞穴が
点在しているのを見かけることがあります。この
洞穴は、戦争中に掘られた防空ごうとか、農作物
を貯蔵するために設けられたもののほかに、「墓」
としてつくられたものもあります。

この墓は、古墳時代後期(A D 500年頃)
から奈良時代にかけてつくられた古墳墓制の一形
態で、市内では、14群確認されています。

今回は、万田懸ノ台横穴、高根横穴などを中心
に展示します。

会期 1月5日(水)～2月15日(火)

場所 博物館・寄贈品コーナー (入場無料)

● 星を見る会

「半月を見よう」

月令7、半月の表面を観察します。

日時 1月21日(金) 17時～19時

「冬の星雲・星団」

冬の星座の中にある代表的な星雲や星団を、望
遠鏡を使って観察します。

日時 2月17日(金) 17時～19時

ともに参加は自由です。当日博物館・科学教室
にお集り下さい。

● 体験学習シリーズ72 「くず粉を作ろう」

くずの根を掘り、水でさらして、くず粉(でん
ぶん)をとる実験をします。

日時 2月13日(日) 9時～16時

(雨天中止)

会場 吉沢公民館

申し込み 往復ハガキで、1月末日までに博物
館までお申し込み下さい。申し込み多数の場合は、
抽選で30名まで。



⑥

カモメの群れる河口

11月16日(火) くもり

1ヶ月ぶりに相模川河口の干潟へ調査に行くことにした。いつものように、自転車で湘南大橋を越えて行くと、干潟の中央い白い鳥の群れが見えている。今年もまたユリカモメがたくさん渡ってくる季節になったのだ。

干潟の岸に着くと、ザックから双眼鏡を出し、まずひとわり干潟を見渡してみる。北岸にカモの群れ、中央にカモメとサギ、砂州にカラスの姿があり、シギやチドリは見られないようだ。次に、望遠鏡を三脚につけ、腰を下ろして、じっくり観察を始める。

北岸のカモの群れは、カルガモが10羽と、雌のヒドリガモが1羽だった。どれも干潟に片足で立ち、頭を背中の中に入れて眠っている。この河口では、以前はこうして休むカモの姿はほとんど見られなかったのだが、昨冬、銃猟禁止区域に指定されてから、いつも10〜20羽が見られるようになった。カモもよく知っているなと思う。カルガモは、砂州の上に1羽座りこんでいるのを見て、合計11羽になった。

河口干潟での主な調査は、種類ごとに個体数を記録し、その季節や年度による違いを比較することである。数の多い鳥を数えるには、カウンターが威力を発揮する。ユリカモメは思ったより少なく95羽が数えられた。しかし、1時間後に数え直した時は、113羽にふえていた。時々刻々の変化もあるので、なるべく回数多く数える必要があるわけである。

ユリカモメの群れには、38羽のウミネコの若鳥もまざっていた。茶色味がかった体は、白いユリカモメに比べると、ずい分汚れてみえる。

9時43分、3羽のヒヨドリが東側の松林から



ユリカモメ

飛び立ち、相模川を越えて西へ向かっていった。ヒヨドリは平塚付近では一年中見られる鳥だが、北日本で繁殖するものは、南方へ渡って冬を越す。昼間、群れて渡りをするので、その渡りのようすを観察することができ、相模川河口では、10月下旬を中心に、多い時は半日で1,000羽以上が西へ移動していく。今日の3羽は、渡りの最後に近い一団だったのだろうか。

干潟の岸には、ボラの死体が6、7個打ち上がっており、カラスがそれをつつきに来ていた。はじめはハシボソガラス3羽が食べていたところへ松林からハシブトガラスが2羽飛んできた。ハシブトが、トントン

とはねるようにハシボソに近づくと、ハシボソは、食べていた魚を無抵抗に明け渡した。体が一回り

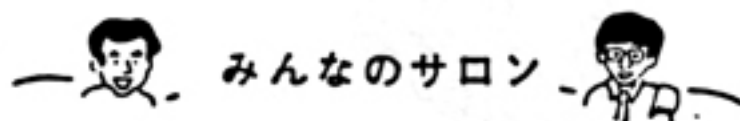
大きいハシブトが、はっきり優位に立っているようだ。



魚も食べハシブトガラス

砂州の方からビリッ、ビリッと細い声が聞え、1羽の小さな鳥が水辺におり立った。望遠鏡で見ると、さきほどまで姿のなかったシロドリだ。浅い水中に立ち、頭をざぶん、ざぶんと水につけて水浴びをしている。例年なら、今頃は、干潟でシロチドリとハマシギがかなり見られてよい季節である。例えば、1980年11月19日のワールドノートには、シロチドリ104羽、ハマシギ126羽、そしてミユビシギ52羽とある。結局、今日はシロチドリ2羽を数えたのみで、淋しい限りだった。この夏2回の台風で相模川が増水し、干潟周辺の地形もかなり変わった。それから2カ月がたち、表面的には前とあまり変わらぬほどに回復したが、鳥たちの餌になっている泥の中の動物は、まだ十分元通りになっていないのかもしれない。来年の春の渡りの時期までに回復するとよいのだが。

松林からは、キーキキキキとモズの高鳴きが聞えてきた。枯れた松に望遠鏡を向けると、ツグミ2羽とスズメ3羽の姿も見えた。ツグミが渡ってくると河口も本格的な冬である。ピーッと細い声を残して、タヒバリが上空を飛びすぎていった。



「なんでも書いてみよう」ノートより

今年の天文現象から

昨年はお正月早々と年末ぎりぎりに月食があるという。いそがしくもにぎやかな一年でしたが、今年が残念ながら平塚で楽しめる天文現象はあまりなく、静かな年となりそうです。

今年一年の天文現象をひろいあげてみます。

○惑星の動き

夕方、西空に水星が見られる

4月下旬 8月下旬 12月中旬

夕方、西空に金星が見られる。 2月～8月

金星が最も明るく輝く 7月中旬

木星が夕方見られる 6月～12月

土星が夕方見られる 4月～11月

○流れ星

ペルセウス座流星群の活動が好条件で見られる

極大日 8月12日～13日

ふたご座流星群の活動が見られる

極大日 12月14日～15日

○仲秋の名月

9月21日

この他に、木星が月にかくされる現象(えんべい)が、4月30日に起こります。平塚では、この現象が起こる範囲の北側のため、月は木星のすぐ南側を通過してしまい、木星が月にかくれるところを見ることはできません。しかし月と木星が異常接近する様子を見ることはできるでしょう。

また、12月12日には土星が月にかくされますが、これも昼の2時すぎに起こるため、見るのは困難でしょう。

(馬 学芸員)



おことわり 「教育普及活動の紹介」は、今回は、お休みさせていただきます。

おはようございます。
2ヶ月の月もついでにいい博物館へ
きています。月と木星はいい心も育つといいと、東京の
図書館やこのあたりの広場や博物館を利用
させてもらっています。
どのもも身心共に健康に育って下さる様に
祈っています。
ふたご座流星群の活動が好条件で見られる。
北国ではこの時期にいい景色に伺います。
私達もあと1ヶ月で新しい年を迎えます。
一日一日大切に生きて、いい年になるように
気持ちいい新年を迎えたいように。

すまねいね
及果

博物館から

おはあゆみの、慈愛に満ちたそばにいる友果ちゃん、とて年々
そうに見えます。きっと情緒豊かなお子様に成長することでしょう。
私達も、みんなに喜ばれる環境づくりを心がけ、来館者に親しまれる
博物館づくりに精進したいと思っております。
一日一日の生活を大切に、今日あるうちに感謝して生きていきたいと思います。
お互いに、素晴らしい新年でありますように！

受入寄贈資料

- 10.29 ノコギリ 平塚市中原 中戸川快三様
- 11.12 発動機、唐箕、投網など 平塚市東八幡 2-1-5 鳥沢菊松様
- ヘッツイ 平塚市千石河岸 18-1 飯尾ヒデ子様
- 俵じめ、カブキリグワ、オンガなど 平塚市岡崎 4、287 杉山要助様
- 12.5 ニホンジカ 厚木市上荻野 1401-110 青砥航次様

御協力を深く感謝いたします。